

NO.	分類	ご意見の内容	市の考え方	計画への反映
1	総論	<p>・基本計画にある利用者数、スポーツへの参加者数の増加の根拠がなく、計画を進めるための見せかけのデータとしか思えない。</p> <p>・建替えると、その後のメンテナンス費用も現状より上がることが予想される。財政的に負担にならないか？</p> <p>・老朽化や耐震性能が理由の建替え計画であれば、近年の耐震技術を有効に活用すれば、耐震補強や内装のリニューアルなど、建替えに比較し極端に費用逡減な手法もあるのではないか？</p> <p>安易な建替えにするのではなく、自治体の見本となるような、低コストでのリニューアルにすべきと考えます。</p>	<p>本建物は、特殊な構造で耐震診断を進めることができず、耐震性能を満たしているか不明な建物となっています。</p> <p>また、市は、人口減少を伴った超高齢化社会が更に進展すると予測される中で、スポーツや運動を通じた市民の健康寿命の延伸を目指しています。市民の森ふれあいホールとともに二大スポーツ拠点として、また「健康」「交流」「防災」の視点から地域の様々な活動場所と活用していただくため、規模を大きくリニューアルしていきたいと考えています。</p>	<p>ご意見は、大規模公共施設更新に伴う、市の財政負担についてのご意見と受け止めます。</p> <p>本計画案は建替えを前提とした計画であり、本計画の変更等は行いません。</p>
2	総論	<p>特に、防災上の観点で、建替えに賛成である。現在、日野市の人口はおよそ19万人であり、必要な施設、阪神淡路大震災から熊本地方の大震災までのデータを参考に必要性を考えその必要性を提言する。</p> <p>施設 防災上、期間は1ヶ月以上の避難生活である。学校などの公共施設は1週間程度可能である。</p> <p>熊本の教訓 ①自主避難先が把握されていない。②施設の不安があり、車での生活者が多い。③非難の人の数が多く、入りきれない。④ベットなどがある人は外で過ごしている。⑤避難先での食事の炊き出しなどの施設がほとんどなかった。⑥救護物資の一括した送付先がない。⑦医療関係での救護施設の問題。⑧高齢者、幼児などの風呂、トイレなど衛生面での問題</p> <p>日野市はふれあいホールで1万は大丈夫だろうが、他の市はそれぞれ自分の場所があり、影響として考えられる人口3割のおよそ6万人の避難場所など、新選組の市である日野市は、長岡藩の”米百俵”の精神をくみ、100年は持つしっかりした施設の必要性を作るべきであり、そのためにはスポーツ施設と関連した広く、しっかりとした施設の建設を行い、市の子孫にその精神を残しておきたいものだ。</p>	<p>同上</p>	<p>計画案を補強するご意見として受け止めて、変更等は行いません。</p>
3	総論	<p>体育館の改築を以下の理由で早期に実現して下さい。</p> <p>1. 現状の体育館の耐震性が特殊な構造形式のため、明確に耐震性を判断できないと聞いております。しかし、当該建物は新耐震基準以前の建物であり、耐震性が十分に確保されていないと判断した方が賢明です。よって、公共性が高い建築物であり、早急の対応が必要と考えます。</p> <p>2. 今後高齢社会がますます進む中で、高齢者の健康を長く維持していくことは不可欠です。また、日野市スポーツ推進計画の中でも、市民のスポーツを推進していくこととなっています。高齢者の活動の場として、またスポーツ推進の拠点の一つとして、新たな南平体育館を位置づけしてもらいたい。</p> <p>3. 日野市南部地域における災害時の拠点として使用しなくてはならない。今回の熊本地震もそうですが、大地震は必ず起きます。日野市南部地域は、過去に傾斜地を開発した地域を広く有しています、大地震時に地盤の崩壊が起こる事は予想されます。その時の対応のためにも事前にこの地域に十分な防災対応機能を有した体育館は不可欠です。以上</p>	<p>同上</p>	<p>ご意見の趣旨と同じ考え方なので、基本計画案の変更等は行いません。</p>
4	総論	<p>「浅川以南の身近なスポーツ施設として、多くの市民の皆さまに利用されてきました」や「南平体育館は市南部地域の身近な体育館であり」とあるが、豊田地区の住民も利用している。</p> <p>市では南北に「南平体育館」と「市民の森ふれあいホール」を位置づけているが、東西地区にも配慮して欲しい。旭が丘地区は浅川以北のため「市民の森ふれあいホール」の利用を促しているのかも知れないが、都道155号平山通りを利用すれば、はるかに近く新設されれば利用者は増加すると考えられる。ぜひ南北の位置づけの概念は止めて頂きたい。ちなみに豊田地区は浅川以北であり旭が丘に隣接している。</p>	<p>市では平成27年5月に策定したスポーツ推進計画により、スポーツ環境の充実を目指してまいります。一方、人口減少を伴った超高齢化社会を迎えるにあたり、市内の公共施設全体のあり方については、現在策定中の公共施設総合管理計画などにおいて議論していく必要もあると考えております。なお、南平体育館の利便性の観点については、南北だけでなく東西方向にも配慮が必要かと認識しております。東西地区の方々も利用しやすい公共交通網整備なども別途検討してまいります。</p>	<p>市内におけるスポーツ施設の配置についてのご意見と受け止めて、南平体育館建替基本計画案としては、変更等は行いません。</p>
5	総論	<p>南平体育館の老朽化が進み、耐震性に不安があり建替えが必要になっているとする点には賛成する。</p> <p>また、ふれあいホールとの役割分担で、南平体育館を地域住民のための交流、健康、防災に重点を置いた施設と位置付けたことにも賛同する。</p> <p>一方、地域のための施設に国費、都費を除いても30億円以上かけるのは、さすがに高過ぎると考える。学校施設や近隣自治体の施設の利用促進など、既存施設を最大限生かしたうえで、どうしても必要な機能のみにしぼった、よりコンパクトで低コストな体育館とすることを望む。</p> <p>また、計画書では、市南部にスポーツ施設が少ないことが指摘されているが、そもそも5km四方程度の日野市において、そのような地域区分の発想が必要なのか疑問である。スポーツ実施率の向上に向けては、南平体育館の建替えを唯一の切り札のようにするのではなく、市南部の住民を積極的にふれあいホールに誘導していくような視点も持っているのではないかと考える。</p>	<p>市は、人口減少を伴った超高齢化社会が更に進展すると予測される中で、スポーツや運動を通じた市民の健康寿命の延伸を目指しています。市民の森ふれあいホールとともに二大スポーツ拠点として、また「健康」「交流」「防災」の視点から地域の様々な活動場所と活用していただくため、規模を大きくリニューアルしていきたいと考えています。</p>	<p>市の考え方は、左記のとおりであり、計画案の変更等は行いません。</p>

NO.	分類	ご意見の内容	市の考え方	計画への反映
6	施設機能	本格的なトレーニングができる「トレーニングルーム」を整備して欲しいです。	計画案では、現状のトレーニングルームを拡大充実させ、本格的なトレーニングルームを整備する予定でおります。	ご意見の趣旨と同じ考え方なので、基本計画案の変更等はいりません。
7	施設機能	熱中症対策に伴い「全館に空調」を整備して下さい。	全館に空調を整備する予定でおります。	ご意見の趣旨と同じ考え方なので、基本計画案の変更等はいりません。
8	施設機能	メインアリーナのバドミントンコートの配置について、ミニテニスをプレイする上で、一部危険を伴う配置である事に気がきましたので、修正案を添付資料にまとめました。ご検討いただき、本修正案を採用されますことをお願い申し上げます。	ミニテニス競技は、バドミントンコートのラインの外側でプレイする競技であり、コート外側に一定の空間が必要であることは認識しております。計画案のメインアリーナの大きさの中で対応できる内容と考えておりますので、いただいたご意見を参考に、コートラインについて設計段階で検討してまいりたいと考えております。	ミニテニス競技に配慮したライン計画とするよう計画案に追記します。
9	施設機能	ミニテニスはバドミントンコートにバウンドさせたボールを打つ競技ですので、ベースラインより外側の空間が必要です。許されるなら、別紙の空間が希望です。		
10	施設機能	駐車場の台数について 平成28年1月23日(土)日野市立南平体育館で行われた「日野市立南平体育館建替基本計画(案)説明会」の資料によれば、駐車場は62台である。しかし計画では45台となっている。45台の根拠になった駐車場利用調査はH27年12月であり、説明会実施前に結果は判明していたはずなのに「62台の現状を維持」と説明したのは誤りではないか。この際、今後は利用者が増加すると考えられるために62台が可能であれば市民に説明した説明会どおり62台に計画すべきである。今後の課題には「敷地内に極力現状の駐車台数を確保しつつ」と記載があり、矛盾がある。なお、旭が丘地区の高齢化率は低いが高齢者人口は遜色ない。率で判断するのではなく、人口で判断すべきである。前述のとおり旭が丘地区の利用者の増加が見込まれる。	説明会での原案では、現状と同等の台数を目指しておりました。その過程で自走式2階建て駐車場などの検討も行いましたが費用対効果としては困難な状況でした。また並行して、平常時の駐車場利用の状況調査の分析を行い総合的に勘案した結果、敷地内に45台の駐車場といたしました。しかしながら、土日の大会利用時など一時的な車両の増加も想定されるため、「敷地外」に臨時駐車場を確保することなども今後の課題としてまとめさせていただいております。	市の考え方は、左記のとおりです。敷地外駐車場についての可能性について調査を行い、計画案を一部修正します。
11	施設機能	植栽計画について参考意見。フェンス際植え込みは、除草等メンテナンス用空間を取り、フェンスに密着しない配置にする。	いただいたご意見を参考に、植栽計画について設計段階で検討してまいりたいと考えております。	計画案の中で対応可能と判断し、計画案の変更等はいりません。
12	施設機能	当該施設の災害時における避難所としての機能について補足が欲しい。 ・水、食料の備蓄数 ・設備内の収容人数 ・UPSの有無、機数 など	現在の日野市地域防災計画において、南平体育館は遺体収容所として、また耐震後は物資集積所(地域内輸送拠点)として位置づけられております。しかしながら、近年の震災の状況を踏まえると、体育館のような大規模空間はいざという時の地域の防災拠点としての機能も備えておく必要があると考えています。建替え基本計画案では、避難収容人員は、1人あたり3㎡として、約300人～500人程度が収容できる見込みです。防災設備としては、防災備蓄倉庫、マンホールトイレ、雨水利用の機能などを予定しており、設置数など詳細については設計段階で検討してまいります。また、自家発電設備や太陽光発電及び蓄電などについては、工事費用が多額になるため今後の検討課題と考えております。	市の考え方は、左記のとおりであり、計画案の変更等はいりません。
13	施設機能	コート間にネットで(アリーナを)間仕切りをするときは、1m以上の空間を追加して欲しいと思います。	アリーナについては、分割(間仕切り)使用についても想定しています。いただいたご意見を参考に、コートラインや間仕切りネットなどの設置位置について、利用者の安全の視点から、設計段階で対応して参りたいと考えております。	分割使用時の安全配慮として、計画案に追記します。
14	施設機能	トレーニングルームは何か所か必要ではないでしょうか？	市内の公設トレーニングルームは、南平体育館と生活保健センター内の「輝き」のみとなっています。また、市内には民間トレーニングジムもございますので、公共施設のあり方や役割を踏まえながら検討してまいります。	市内におけるスポーツ施設の配置についてのご意見と受け止めて、南平体育館建替基本計画案としては、変更等はいりません。

NO.	分類	ご意見の内容	市の考え方	計画への反映
15	代替施設	建替え期間中、他の場所で利用できるようお願いいたします。高齢者健康維持のためにも		
16	代替施設	高齢者の運動の継続の重要性を言って置きながら工事期間中の代替案について深く考えられていない。毎週トレーニングルームを使用する身として早急に代替案を提示して欲しい。	工事期間中の代替施設については、報告書(P136)にて検討いたしました。現時点では仮設建築物を建設する場所も無く、コストも高額となるため、市民の森ふれあいホールや学校体育館の利用をお願いせざるを得ないと考えております。工事期間中ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いするものです。なお、現時点では、ふれあいホールの使用料割引を行う予定はありません。	市の考え方は、左記のとおりであり、計画案の変更等はいりません。
17	代替施設	現在、週に3回トレーニングルームを利用しています。工事期間中も利用できるように、どこかに現在の器材を移してトレーニングが継続できるようにご配慮願います。		
18	代替施設	建替中はどこかにトレーニングを出来る場所が必要と思います。		
19	代替施設	建替工事中は、ふれあいホールの入場料と駐車代を割引にしたい。		
20	使用料	南平(体育館)は入場料が100円で駐車はタダ。		
21	使用料	駐車場の有料化について 有料化を検討するとあるが、「市民の森ふれあいホール」は有料化しており、平成26年度日野市行政評価結果の市民評価で指摘されているように、受益者負担の観点から有料化は決定として、検討すべきは料金額ではないか。	報告書P134に記載のとおり、建替え後の施設使用料については、公共施設等の使用料設定基準により、建設費及びランニングコスト、受益者負担割合などから算出し、類似施設などを参考にしながら、市民が使用するにあたって適正な料金設定を検討して参ります。また、駐車場については有料化する方向で考えております。	市の考え方は左記のとおりであり、計画案の変更等はいりません。
22	使用料	駐車場は有料になっても仕方がないと思う。		
23	使用料	体育館の駐車場は料金を取らないよう		
24	使用料	新しい体育館を建てても良いが、金がかかるようになるのであれば賛成できかねます。特にパーキング代等やふれあい体育館(市民の森ふれあいホール)のように高くないよう願います。		
25	公共交通	高幡や平山からバス(1時間に1本でもOKです。)を通してほしい。	現在、平山地域から南平体育館付近を結ぶバス路線はありませんが、バス路線を充実させることについては、市内全体の公共交通ネットワークを計画する中で検討していく必要があると考えております。なお、南平体育館の最寄りのバス停は、市内連絡バス(ミニバス)南平路線(高幡不動駅～豊田駅北口)の北野街道口バス停がありますので、高幡不動駅方面からお越しの際はぜひお使いください。	公共交通機関の充実のご意見と受け止めます。市の考え方は左記のとおりであり、南平体育館建替基本計画案の変更等はいりません。
26	維持管理	維持管理費について 「市民の森ふれあいホール」指定管理の実態と対比し、行政改革の目的のひとつである経費削減の方策として将来の指定管理実現に向けて精査し、更なる経費削減に努めることを望む。	ご意見のとおり、南平体育館の建替え後は、単なる貸し館業務だけでなく、市民の森ふれあいホールの指定管理と同様な、スポーツプログラムを提供できるような、指定管理制度の導入を検討してまいります。	建替え後の運営方針について、指定管理者制度なども今後検討するよう、計画案の一部を修正します。